

2024 年 7 月 17 日

「アマチュア無線の魅力向上アイディア」提案書

1. 提案者
 - ・ 氏名（グループの場合は代表者）：正木潤一
 - ・ 年齢：
 - ・ コールサイン（局免許保有者の場合）：J P 3 D O I
 - ・ 連絡先 住 所：
 - メール：
 - ・（グループの場合）代表者以外の構成員の氏名・年齢：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）
 - Ⓐ 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイディア
 - B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイディア
3. アイディア名：『交信によるポイント収集&特典の獲得』
4. アイディアの概要（200 字以内）：

無線交信のたびにリグ(SD カード)にポイントが溜まる仕組み。溜まったポイントに応じて「アクティブ度合い」を示す章記(証書)画像がダウンロードできる。NYP ステッカー収集を、日常のQS0 で体験出来るようなもの。獲得ポイントは相手局との距離、1st QS0、初交信 JCC などで高く、ワッチだけでも時間に応じてポイントが溜まる。

※メーカーによる無線機(ソフトウェア)の対応が必要。(ただしファームアップデートで可能)
5. 詳細説明（図表を含めて 4 頁以内）：

交信をカタチに残す既存の「QSL カード」や「NYP ステッカー収集」は、処理やルール上、入手までに時間のかかる「実績証明」のため、カタチとして達成感を得られるまでに時間が掛かる。それはあまりに気が長く、若者や現代の時間感覚にそぐわない。

無線の活性化を「頻繁にオンエアする人を増やすこと」としたとき、交信(ワッチも含む)の結果(実績証明)が「ポイント」というカタチですぐに得られて蓄積されるようにし、その蓄積結果としてポイントに応じた証書(章記画像)がデジタルデータ(画像ファイル)で得られる必要があると思う。

非アクティブなハムやQS0 パーティーやコンテストしか出ないハムも、日常的にメイン CH、レピーターをワッチする動機付けとなり、そしてポイントを早く溜めるために「波を出してみよう」という動機付けに繋がると思う。
6. 参考情報（任意）
 - ・ 参考資料：資料名『交信ポイント制』（PDF ファイルを添付）
 - ・ Web 情報：タイトル、URL

交信ポイント制：



リグに QSO (送受信) が記録される：

相手局のコール、位置やアクセスレピーターが記録され、
相手局と 1st QSO だったり距離が遠かったりした場合は高ポイントとなる。
(一定時間以上で一定回数の送受信がないと QSL と認められずポイントは付かない)



リグにワッチ (受信) が記録される：

一定時間以上ワッチすると 1 ポイントだけ得られる。
ワッチする周波数やレピーター / ノード局を変えることで
さらにポイントを溜めることができる。
(一定時間以上スケルチが開いていなければポイントは付かない)

対応リグの仕様 (案)：

ポイント対応リグ
(デジタル機)

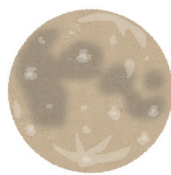


- ・ 自局位置情報と相手局の位置情報を参照
- ・ PTT 押下回数、SQL オープン回数や時間などから
「QSO をした」「一定時間ワッチした」などのアクティビティを検出。
- ・ アクティビティに応じたポイントを SD カードに保存。
- ・ ポイントに応じた章記画像 (下記参照) をダウンロードできる。
- ・ 章記画像を起動時のオープニング画面にできる
- ・ 既存ユーザーもファームアップデートで対応

ポイントに応じて得られる章記 (= アクティブ等級) の例 (イメージ)：



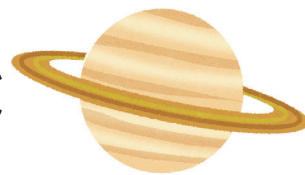
『地球』級



『月』級



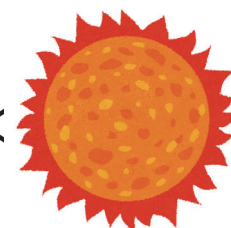
『金星』級



『土星』級



＜ 中略 ＜



『太陽』級

章記が掲載された発給カード (任意・有料) の例：

